

札幌みらい塾2016

ACFアートサロン in わくわくホリデーホール

僕の芸術に対する考え

会田誠

スペシャルトーク

2016年7月15日(金)

18:30 START

※開場は開演の30分前

わくわくホリデーホール
(札幌市民ホール)2F第一会議室
_札幌市中央区北1条西1丁目

出演:会田誠(美術家)

一般 / 2,000円 学生・ACF会員・V-net会員 / 1,500円

※前売券は一般券のみ、ローソンチケット/Lコード 11707 電話/0570-084-001

及び大丸プレイガイド(電話/011-221-3900)で販売

※学生・ACF会員・V-net会員はメールにてご予約の上、当日精算(学生証、会員確認)となります。

ACF札幌芸術・文化フォーラム 札幌市中央区南3条東2丁目MUSEUM内

電話&FAX: 011-596-7752 メール: sapporoacf@gmail.com

公式サイト: www.sapporoacf.org

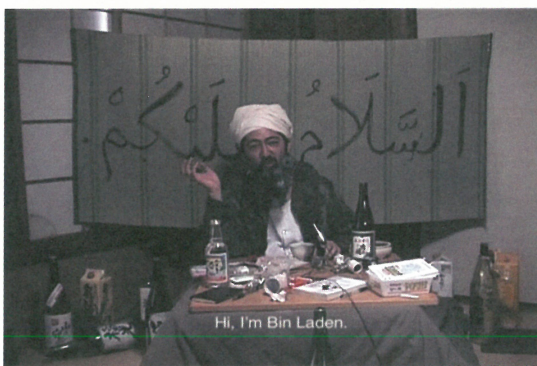
主催 | ACF札幌芸術・文化フォーラム/大和リース(株) 後援 | 札幌市 協力 | ミヅマアートギャラリー/さっぽろアートボランティア・ネットワーク(V-net)

会田誠 スペシャルトーク

僕の芸術に対する考え

美少女、戦争画、サラリーマンなど、社会や歴史、現代と近代以前、西洋と東洋の境界を自由に往来し、奇想天外な対比や痛烈な批評性を提示する作風で活動続ける美術家の会田誠。2012年に森美術館で開催された個展「天才でごめんなさい」では49万人を動員するなど、幅広い世代から圧倒的な支持を得ています。

そんな彼が待望の新作個展「はかないことを夢もうではないか、そうして、事物のうつくしい愚かしさについて思いめぐらそうではないか。」を2016年7月6日よりミヅマアートギャラリーにて開催。今回のトークでは新作についてを中心に会田誠が今、何を思い作品を作っているのかを映像を交えて語ります。



一番左の作品

「あぜ道」

1991 パネル、和紙、岩顔料、アクリル絵具
73×52cm 豊田市美術館蔵 撮影:宮島径
(c) AIDA Makoto
Courtesy Mizuma Art Gallery

右上の作品

「電信柱、カラス、その他」

2012 パネル、キャンバス、アクリル絵具(六曲一隻屏風)
360×1020cm 森美術館蔵 撮影:宮島径
(c) AIDA Makoto
Courtesy Mizuma Art Gallery

右下の作品

「日本に潜伏中のビン・ラディンと名乗る男からのビデオ」

2005 ビデオ 8分14秒

(c) AIDA Makoto
Courtesy Mizuma Art Gallery

会田誠 (あいだ まこと)

1965年新潟県生まれ。1991年東京藝術大学大学院美術研究科修了。

絵画、写真、映像、立体、パフォーマンス、インスタレーション、小説、漫画など表現領域は国内外多岐にわたる。小説「青春と変態」(ABC出版、1996年/筑摩書房、2013年)、漫画「ミュータント花子」ABC出版、1999年/ミヅマアートギャラリー、2012年)、エッセイ集「カリコリせんとや生まれけむ」(幻冬舎、2010年)、「美しすぎる少女の乳房はなぜ大理石でできていないのか」(幻冬舎、2012年)など著作多数。近年の主な個展に「天才でごめんなさい」(森美術館、東京、2012-13年)、「考えない人」(プルターニョ公爵城、ナント、フランス、14年)、「世界遺産への道!!～会いにいけるアーティストAMK48歳」(霧島アートの森、鹿児島、14年)、「ま、Still Aliveってこーゆーこと」(新潟県立近代美術館、15年)など。7月6日(水)よりミヅマアートギャラリーにて個展「はかないことを夢もうではないか、そうして、事物のうつくしい愚かしさについて思いめぐらそうではないか。」を開催予定。

2016年7月15日(金) 18:30 START

@わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)2F第一会議室/札幌市中央区北1条西1丁目

ACF札幌芸術・文化フォーラムとは

創造都市さっぽろの芸術・文化の未来を拓こうと、2007年春に市民有志が立ち上げた団体。

市民と芸術家そして行政、企業を結ぶネットワークを形成し情報を発信しています。市民の協働による 芸術・文化のあふれるまち作りを目指す。